



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



3月号

令和5年度も1か月を切りました。先日の授業参観では、お忙しいところ、ご来校くださりありがとうございました。子どもたちは、授業参観に向けて一生懸命に練習をし、本番では堂々と取り組む姿を見せてくれました。一人ひとりの子どもが取り組む姿勢に、ゾーンと感動する場面がたくさんありました。昨年4月に学年が進級した時と比べると、とても頼もしく成長したと思います。

3月は、子どもの成長を感じる時期だと思っています。鍵盤ハーモニカやリコーダーなどを使って演奏ができるようになった。漢字をたくさん覚えた。計算が速くできるようになった。縄跳びの技がたくさんできるようになった。みんなの前で発表ができた。友だちが増えたなど、子ども一人ひとりにはいろいろな成長があったことと思います。子どもたちにとって、1日1日の積み重ねが、大きな成長となっています。授業参観はそんな子どもの成長を感じた1日だったのではないのでしょうか。もちろん、授業参観後には、保護者の方から子どもの成長を伝えたことと思います。そのかけてくださった声は、子どもたちにとって大きな力となり、大きな自信となります。

また、3月は、別れの時期とともに新しい学年に向けた準備の時期となります。子どもにとっては、慣れ親しんだ教室、友だち、先生などお別れになってしまいますが、この1年間で身に着けた様々な力は、大きな自信として、新しい学年にもきっと役に立つことと思います。

教職員一同、子どもたちを励ましながら、3学期および1年のまとめとして指導してまいります。ご家庭の方でも、お子様の1年間を振り返り、できるようになったこと、成長を感じたことなどを伝え、自信を持たせてほしいと思います。

(校長 大谷 幸司)



この前やっと片づけたと思ったらもうお雛様の時期か…と、1年があっという間だということに驚かされます。3月3日は桃の節句。そしてもう一つ「耳の日」としても知られています。

「耳の日」は、難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから、日本耳鼻咽喉科学会の提案により、制定されたそうです。そして、電話の発明やろう教育者で知られているグラハム・ベルの誕生日でもあるそうです。

「耳の日」の由来からこの日はコミュニケーションについて改めて考えさせられる日だなと思いました。人はコミュニケーションをとるために様々な手段を生み出してきたことを実感します。4年生が学んでいた手話も障害を越えて伝え合う手段です。遠くの人とも話せる電話に加え、メールもLINEもある。スマホは違う言語だって翻訳してくれる…。

人とのコミュニケーションに壁がなくなっている今、私たちは忘れてはいけないことが1つ。「この言葉を言ったら相手はどう感じるかな。」相手の立場になって考えられる気持ちです。この気持ちがあってこそ成り立つのがコミュニケーションなのだと、子どもたちに伝えていきたいと思っています。

(教頭 壺井 里英)